

富山市立鶺坂公民館

◆事業の目的

公民館の生涯学習の一環として、子ども達の身近な故郷を見直しその自然の四季折々で体験活動を推進する。親子の参加を促しながら、四季を通じて実施する。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月22日(日)	米づくり挑戦 [田植え作業]	婦中町田島地域 田地	51名
7月25日(月)	親子で自然に親しむ心を育む	婦中町西本郷地域ビオパーク	46名
9月19日(月)	米づくり挑戦 [稲刈り作業]	婦中町田島地域 田地	80名

◆事業の様子

☆ 米づくり挑戦 [田植え作業]

田植え日は、朝から雨模様となり子ども達の参加も心配されていたが、集合時間には予定外の子も達も集合し、各々田植え場所に着くなり、全員ワイワイと喜び勇みながら田に入り湿田に足をとられ転び、泥まみれになりながらも自然に触れる楽しさを身体一杯で表わしていた。



☆ 親子で自然に親しむ心を育む

当日は、雨振る中、婦中町西本郷地域にある [日産ビオパーク] を訪れた。ここは、湿地・池・小川を自然に近い形で整地した庭園で、一年を通じて、水辺や草原に棲む生き物と出会い触れ合うことが出来ます。最初に、ナチュラルリストの先生に自然界の説明を受け、所狭しと飛び跳ねるコオロギ、バッタ、黒いトンボを追いかける者、一方ではナチュラルリストに植栽の説明を聞く者と、自然を大切にすれば知らない昆虫、知らない魚と出会える事を大きく感じとったようでした。



☆ 米づくり挑戦 [稲刈り作業]

一面に稲穂独特の匂いのする田圃に到着し、たわわに稲穂が実っている光景に、子ども達はまず感動したようです。小雨がぱらつく中、指導者に教わりながらも慣れない手つきで鎌を使い、幾つか刈ったところで縛るという労働を通して、自然の中から生まれ出る食物のありがたさ、大切さを、身体を使い学校の中ではわからない貴重な体験を得たものと思います。

刈り取ったあとの子ども達の充実した顔を見て確信したところです。



◆ 事業の成果と課題

日頃は直接触れることの無い泥田や水田、そして手作業による鎌をもちいた刈り取り、又、ビオパークでは自然界に生きる沢山の生物を直接見て触りと児童達は多くの経験を通じ教科書では学ばない大切なことを感じたと思う。

自然体験活動とは参加してこそ得られるもので、継続していく事が大きな課題と思います。